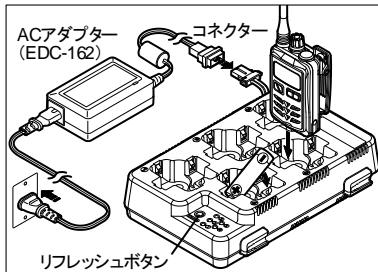


5連充電スタンド(EDC-312R)の使用方法

1台の充電器で最大で5台を同時に充電できます。

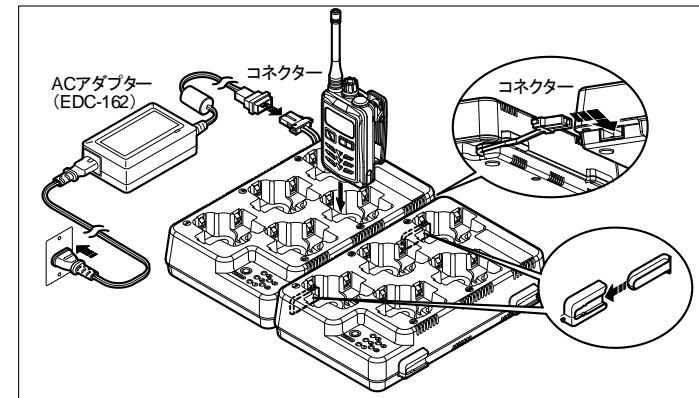
- ① 充電スタンドと連結用ACアダプター(EDC-162)のコネクターを接続します。
- ② 連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
- ③ 本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が始まると赤色ランプが点灯します。
- ④ 充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
- ⑤ ニッケル水素充電電池単品で充電することもできます。極性に注意して充電スタンドに装着してください。



5連充電スタンド(EDC-312R)の連結使用方法

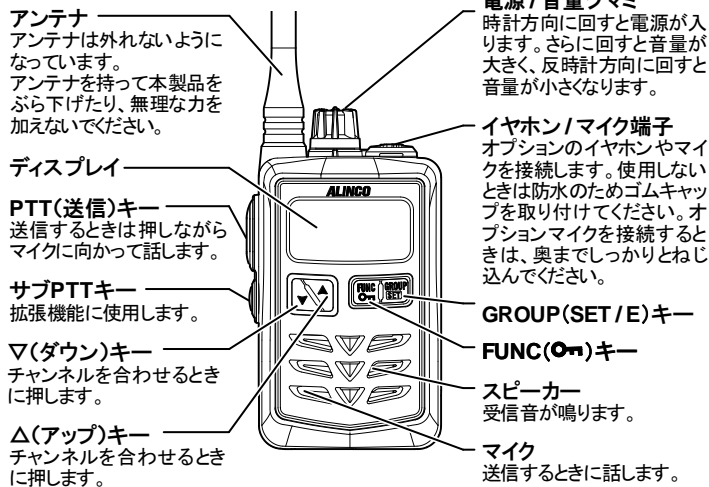
5連充電スタンドを2台接続し、最大で10台を同時に充電できます。

- ① 充電スタンド背面のコネクターを接続します。
- ② 充電スタンド同士を連結します。
- ③ 一端の充電スタンドと連結用ACアダプターのコネクターを接続します。
- ④ 連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
- ⑤ 本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始されると赤色ランプが点灯します。
- ⑥ 充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
- ⑦ スタンドの連結を切り離す場合は、断線を防ぐために先に背面のコネクターを抜いてください。



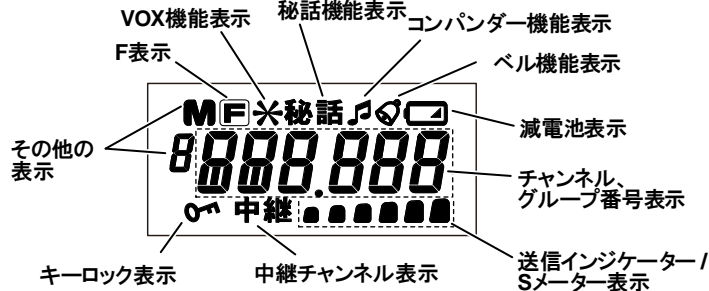
各部の名前とはたらき

前面部



注意 ・マイク穴にシール類を貼り付けしないでください。送信する際の音声拾わなくなります。
・イヤホンマイク製品をご使用になる際は、ケーブルに無理な力が加わって断線しないよう、取り扱いにご注意ください。

ディスプレイ



基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。

本書に記載していないカスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード

キー操作

「キーを押す」とは、キーを押してすぐに放すことを指します。
「キーを長押しする」とは2秒間押し続けることを指します。
「Aキーを押しながらBキーを押す」とは、Aキーを押している間にBキーを押してすぐに放すことを指します。

交互通話

電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源 / 音量ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなります。反時計方向に回すと、音量が小さくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示はレジャータイプ : L01 ~ L09 | **b表示はビジネスタイプ : b01 ~ b11**

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ(9チャンネル機)と通信できます。

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01 ~ 09、b01 ~ 11を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

メモ 既に運用しているグループに本製品を追加導入する際は、別紙のACSHモードを使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。

受信する

信号を受信するとスピーカーやイヤホンから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ 本製品にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザツ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→送信インジケータが点灯します。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
マイクと口元は約5cm離してください。
[PTT]キーを放すと受信待ち受け状態に戻ります。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスが働き、「ブブ」という警告音が鳴り送信できません。受信信号が無くなり、Sメーターが消灯すると送信できます。ピープ音量(操作音)をOFFに設定しているときは、警告音は鳴りません。

中継通話

直接の通信では電波の届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

L表示はレジャータイプ : L10 ~ L18 | **b表示はビジネスタイプ : b12 ~ b29**
9チャンネル 18チャンネル

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10 ~ 18、b12 ~ 29を選択します。
→「中継」が点灯します。

送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ビビ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本製品にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話できません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▽と△キーでは音色が異なります。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[GROUP]キーを押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[F]キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。グループ番号は01 ~ 50を選択できます。初期状態は01番に設定されており一般的によく使用されています。混信を避けるため01番以外に設定することをお勧めします。

注意 [F]キーを押しはじめたらすぐに▽または△キーを押してください。[F]キーを長く押すとキーロックになります。

送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック

キーロックしておくことで誤動作を防止できます。

簡易キーロック(LoC-1)

ONキーを長押しします。
→「LoC-1」が点滅した後「**ON**」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック(LoC-2)

ONキーと[GROUP]キーを同時に長押しします。
→「LoC-2」が点滅した後「**ON**」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

セットモード

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- ① [F]キーを押しながら[SET]キーを押します。セットモードに入り項目が表示されます。
- ② [SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。[F]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③ ▽または△キーを押して設定値を変更します。
- ④ [PTT]キーを押して設定を完了します。

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bAt-AL	電池選択(アルカリ / ニッケル水素)	AL/ni	AL
CmP-oF	コンパクター(雑音低減)	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX(音声検出送信)	OFF/Lo/Hi	OFF
Scr-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-3	ピープ音量(操作音)	OFF/1/2/3/4/5	3
EdP-oF	エンドビー(送信終了音)	OFF/ON/PP	OFF
bEL-oF	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LmP-5	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
HLd-oF	PTTホールド(送信保持)	OFF/ON	OFF
Ptt-on	PTTオンオフ(送信禁止)	OFF/ON	ON
At-on2	中継器接続手順	OFF/ON1/ON2	ON2
EAr-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
CLb-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
PwL-Hi	送信出力(Hi:10mW Lo:1mW)	Lo/Hi	Hi
EmG-oF	緊急通報([SET]長押しで通報)	OFF/ON	OFF
rmt-oF	受信音ミュート	OFF/ON	OFF

メモ 通常のエンドビーは送信終了したときに送信側から「ピツ」という音を発し、受信側にお知らせします。本機能をON/OFFする際は送信側機器を設定してください。

セットモードの詳しい説明は弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード

減電池表示

電池の残量が少なくなると「**LO**」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「**LO**」が点滅します。点滅したら新しい電池と交換してください。

メモ 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換してください。電池選択(セットモード)設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

リセット

設定がわからなくなったときに初期化します。

[F]キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[F]キーを放します。
→工場出荷状態のL01チャンネルになります。

その他の機能

ACSHモード

既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。ACSHモードの使い方については別紙の「すぐにつながるACSH(アクシュ)機能」を、詳細な説明については弊社ホームページをご覧ください。

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード

拡張機能	機能説明
デュアルオペレーションモード	メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話できるモードです。
リモコンモード	本製品をリモコンとして、中継器(別売 DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R、DJ-U3R)のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池の残りが少ない。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
音が出ない。受信できない。	音量が低すぎる。 相手とチャンネルが違う。 相手とグループ番号が違う	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	相手と距離が離れすぎている。 信号を受信している。 3分の通信時間制限を超過している。	通信距離を目安に通話してください。 信号がなくなってから送信してください。 PTT(送信)キーを放し、2秒経過してから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電できない。	充電端子が汚れている。 充電電池が劣化している。 充電電池が専用用品でない。	充電端子の汚れを取り除いてください。 新しい充電電池に交換してください。 専用充電電池EBP-179を使用してください。

如置を施しても異常が続くときはリセットしてください。電池の残りが少ないと誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなる場合がありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-179	ニッケル水素充電電池	EDC-311A	シングル充電器セット(ACアダプター付)
EDC-311R	連結充電スタンド(連結ケーブル付)	EDC-312R	5連充電スタンド(別売EDC-162が必要)
EDC-162	連結充電用大容量ACアダプター	EME-32A	イヤホンマイク カナル型
EME-48A	イヤホンマイク 耳かけ型	EME-58	ストレートコードイヤホン 耳かけ型
EME-62A	喉輪イヤホンマイク カナル型	EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット	EME-70A	イヤホンマイクカナル型
EME-654MA	イヤホンマイク 耳かけ型	EME-764MA	イヤホンマイク 耳かけ型
EME-764PA	イヤホンマイク オープンエア型	EMS-62	スピーカーマイク IP54相当 *
EMS-71	スピーカーマイク IP67相当 *	EDS-14	プラグ変換ケーブル
EBC-58	ベルトクリップ(ネジ1本付)		

* スピーカーマイクはPTTホールド、VOX機能、コールバック機能をご使用になれません。

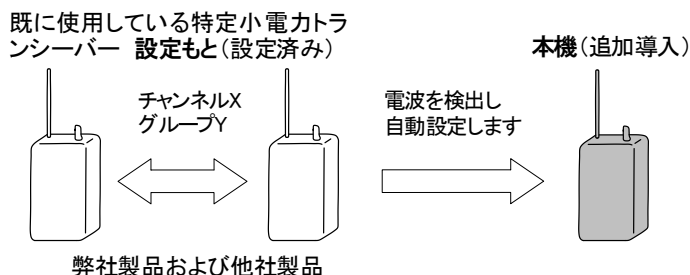
定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz
		421.8125 ~ 421.9125MHz(受信) 440.2625 ~ 440.3625MHz(送信)
ビジネスチャンネル		422.0500 ~ 422.1750MHz
		421.5750 ~ 421.7875MHz(受信) 440.0250 ~ 440.2375MHz(送信)
制御チャンネル	422.1875MHz / 421.8000MHz(受信) / 440.2500MHz(送信)	
電波方式	F3E(FM) / F1D(FSK)	
送信出力	10mW / 1mW	
受信感度	-14dBu(12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上(内部スピーカー、外部出力)	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC1.5V(単三形電池1本) / DC1.2V(EBP-179使用時)	
消費電流	送信時	約150mA
	受信 定格出力時	約200mA
	バッテリーセーブ時	約20mA
動作温度範囲	-10°C ~ +50°C(充電は0 ~ +40°C)	
寸法	高さ74.8mm × 幅46.8mm(突起物除く)	
	電池収納部の突起除く厚さ20.3mm(厚さ最大27.7mm)	
アンテナ長	L	約164.5mm
	M	約74.3mm
質量	L	約90g(ベルトクリップ含む、電池除く)
	M	約82g(ベルトクリップ含む、電池除く)

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは実物と字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
・本書の内容を無断転載することは禁止されています。

すぐにつながる「ACSH(アクシュ)」機能

ACSH機能を使えば、チャンネルとグループ番号を自動設定できます。



本機の電源を切った状態で、SETキーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイにチャンネルが表示されますが、「ピピピピッ」という音が鳴り、表示が“ACSH”という文字の点滅に変わるまでSETキーをそのまま押し続けます。(約7秒間)

ACSH



設定もととトランシーバーを送信状態にします。



本機が電波の検出を開始します。このまましばらくお待ちください。数秒から最長2分程度を要することがあります。



電波を検出すると、「ピピッ」と音が鳴り、ディスプレイに“ACSRn”と表示されます。設定もととトランシーバーは送信状態にしたまま、しばらくお待ちください。

ACSRn
.....



自動設定が完了すると「プルルルル」と音が鳴り、ディスプレイに“000000”と表示されます。

000000
.....



設定もとのトランシーバーの送信を停止してください。



本機は自動的に再起動します。

既使用中の設定もととトランシーバーと通話できることを確認してください。

※ 同時通話には対応していません。半複信中継器が発する電波を検出するときは外来電波による誤検知を防ぐため中継器の近くでおこなってください。

※ 詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード